

きみが選ぶ物語

—ケアのある日々の中で—



誰もがケアをしらる時代

共働き世帯の
増加

少子高齢化

核家族化の
進展

家庭の
経済状況の
変化

家族だけでは大変!!

つながり先は
うしろの
ページへ

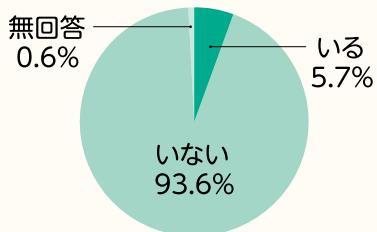


だから、社会のサポートを頼って
周りとつながることが大切です。

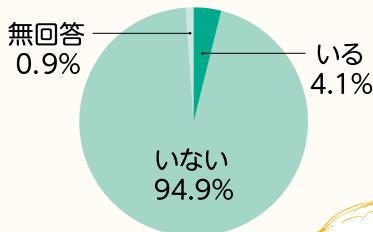


家族のケアをしている子の割合

中学2年生



全日制高校2年生



令和2年度に厚生労働省がおこなった調査では、
「中学2年生の5.7%」「全日制高校2年生の4.1%」

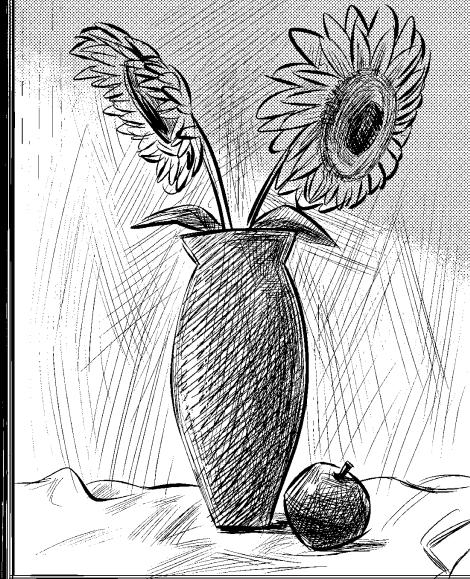
が家族のケアをしていると答えています。

どの年代にも **クラスに1～2人** くらいいるようです。

ケアは突然必要になることも…。
ひとごと
他人事ではありません。



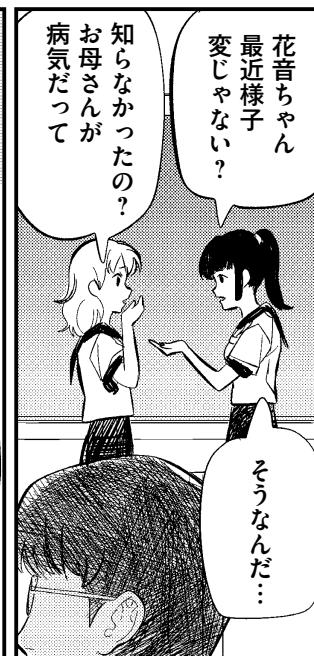
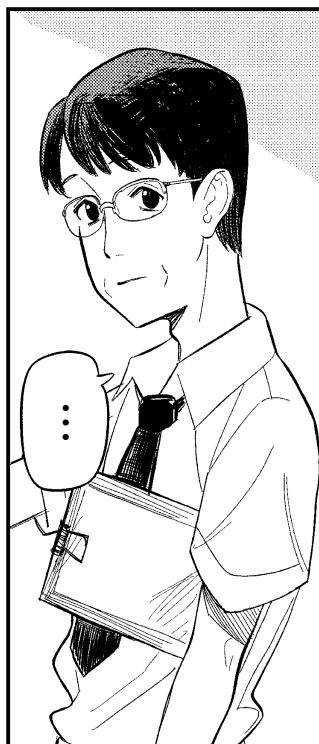
一番
大変なのは
お母さんだから



京都府美術コンクール
大賞
よつば高校
2年生 小手花音

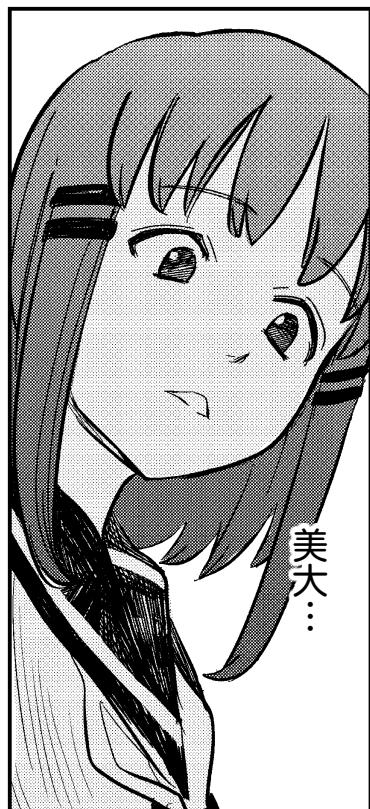
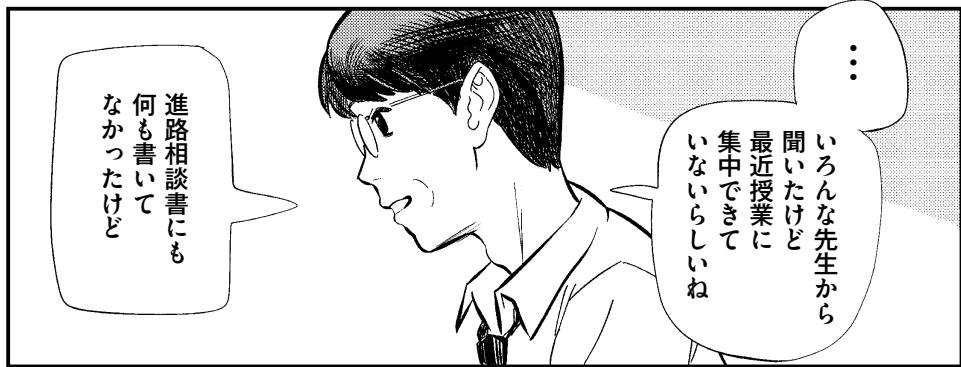
京都府美術コンクール 大賞 よつば高校 2年生 小手花音







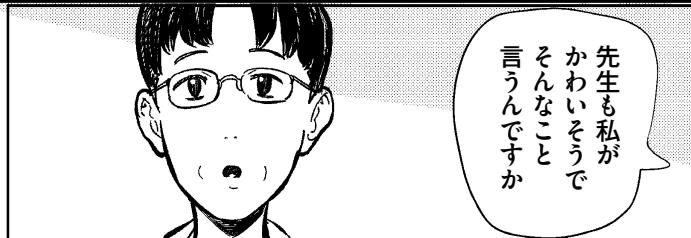




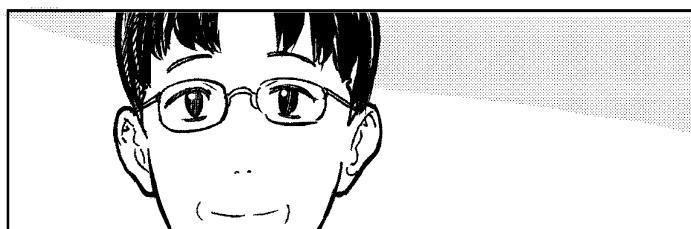
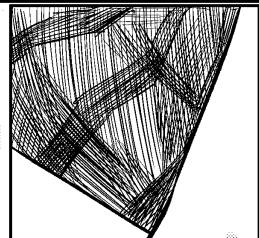


私が頑張れば
いいと思った





先生も私が
かわいそうで
そんなこと
言うんですか







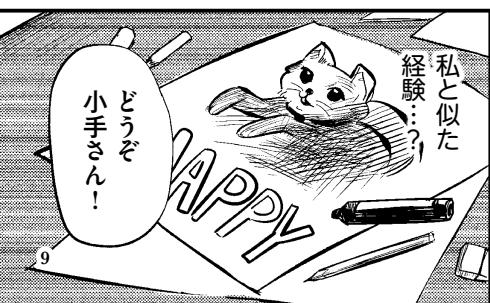
自分のことを
優先したら
お母さんに
悪い感じがするとか



心のどこかに
いつもお母さんの
ことがあって
他のことに
集中できないとか

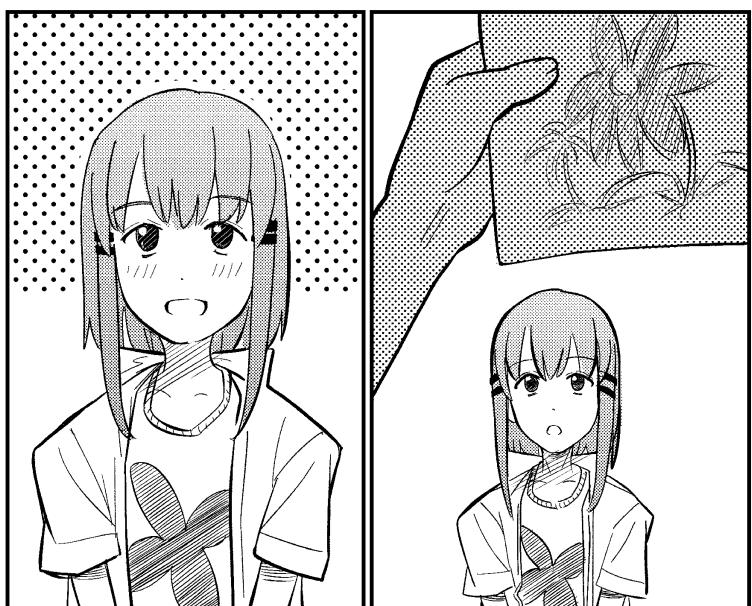


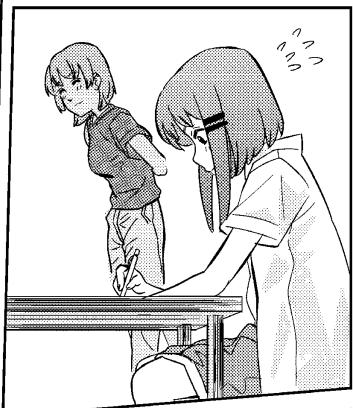
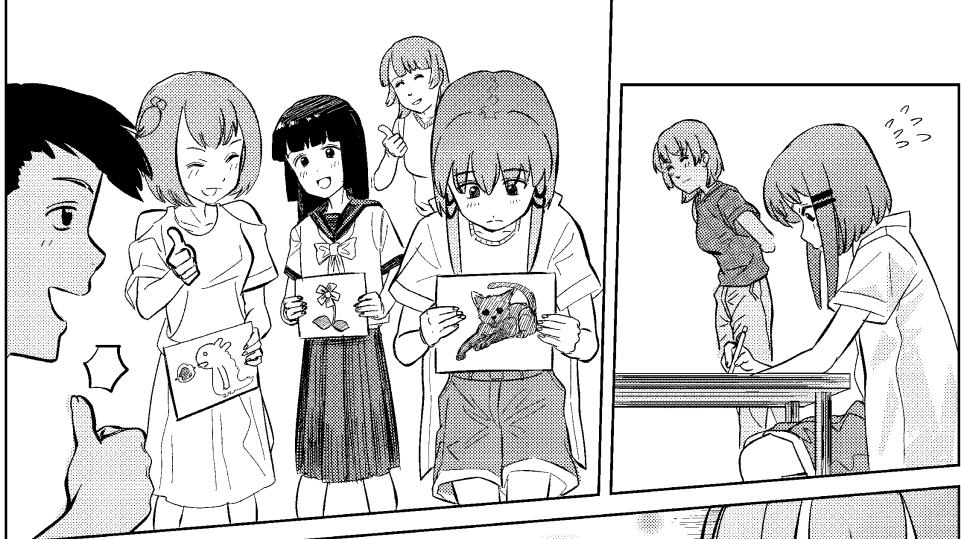
ここは先生を
信じて少し
頼つてみない?



いろはのなかもたち







みんなが
教えてくれた



安心して
自分の気持ちを
整理できる場が
あるということ

そして社会には
力になってくれる
いろんな支えが
あることも

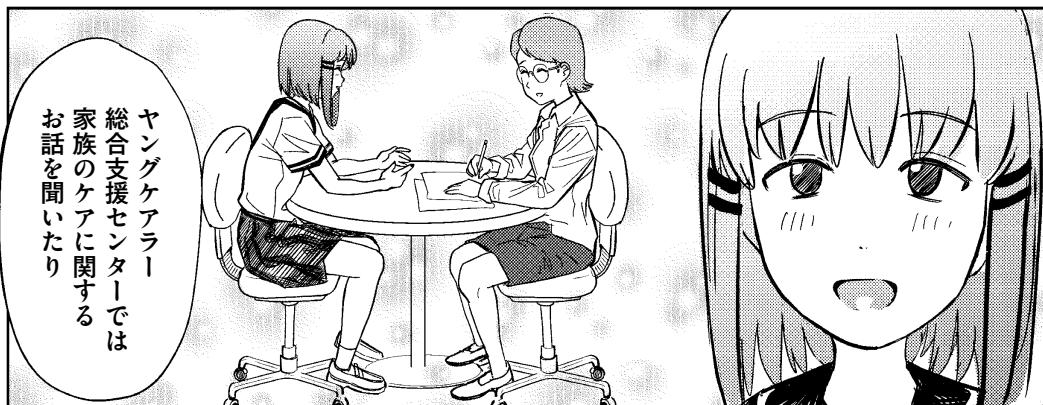


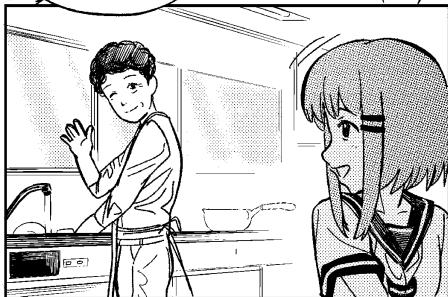
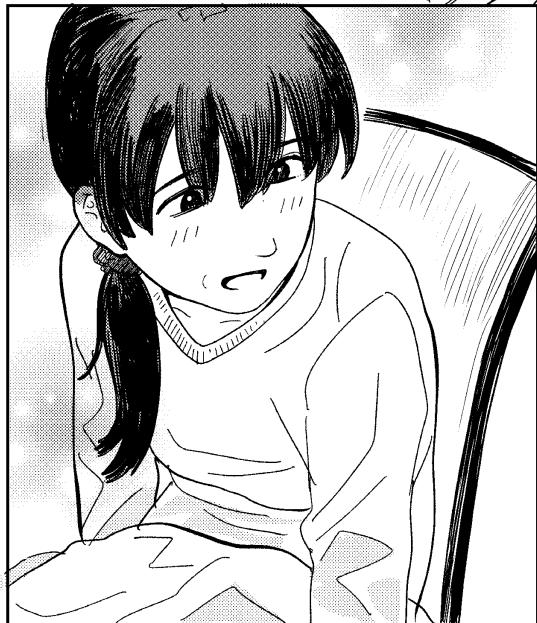
京都府ヤングケアラー 総合支援センター

※ヤングケアラー…本来大人が担つと想定されている家事や家族の世話を日常的に行なっている子どものこと

秘密は
守るので安心して
話してください
花音さんと
ご家族の力に
なれたらと
思います



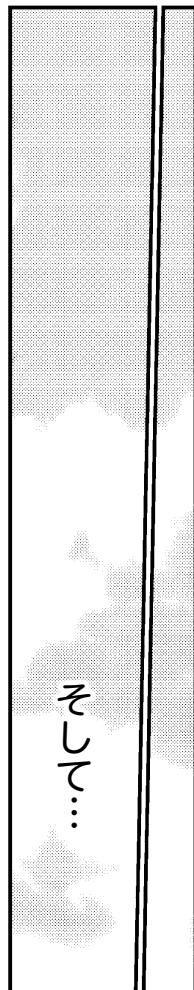
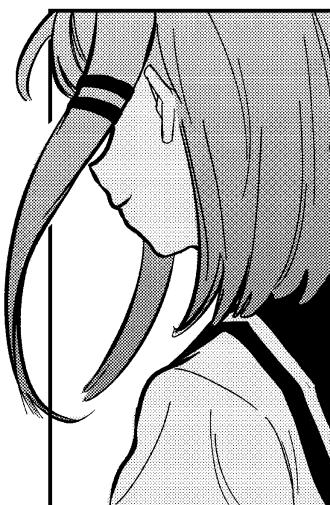




京都府美術コンクール
大賞
よつば高校
2年生
小手花音

もう
一人で
頑張らなく
てもいい

重要なのは
自分のことも
大切にすること

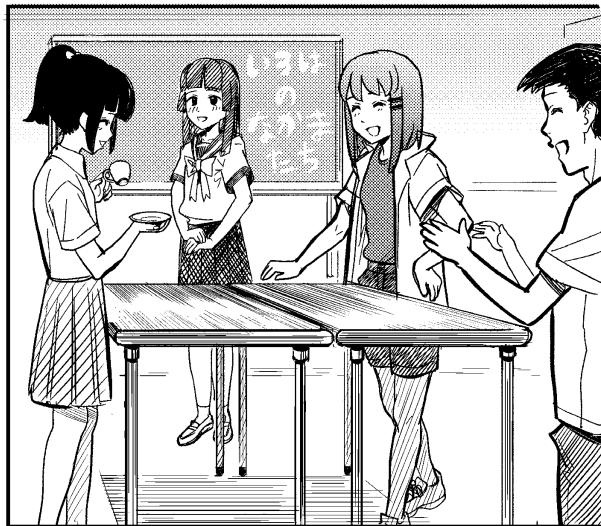


そして…





私で
よかつたら
いつでも
話聞くからね

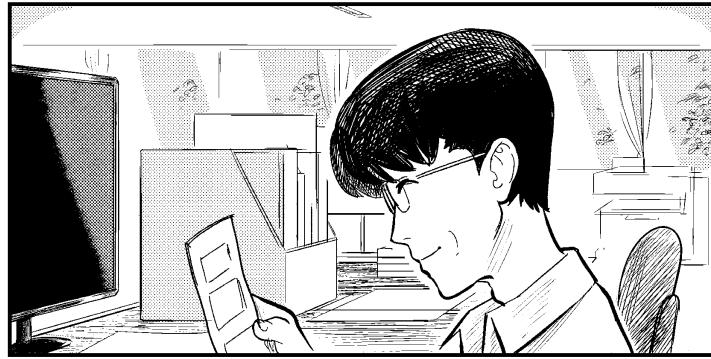


お互いに声を
かけあうこと



進路相談書

著：小手花音



夢を
諦めな
いだー

進路希望：京華美術大学
デザイン学科

おわり

“いま”の気持ちをチェックしよう！

- ☑ 最近なんだかイライラ モヤモヤする
- ☑ 食欲がない もしくは 食べ過ぎてしまう
- ☑ 夜うまく眠れない 朝起きるのがしんどい
- ☑ 前よりたくさんため息が出る なぜか涙が出る
- ☑ 気づいたらばーっとしている なにも手につかない
- ☑ 孤独を感じる 自分はひとりだと思う

大切な自分の心に
気づくため…



気になったら
もう少し詳しく
見てみてね



こんなときは心や体が黄色信号かも。
がまんせずに、信頼できる人・話せる人に話してみてね。

たとえば、こんな大人たち…

身近な頼れる大人たち

保健室の先生

スクールカウンセラー

こども食堂



スクールソーシャルワーカー

居場所の学習支援員

担任の先生

フリースクール

部活の先生



応援してくれる大人はかならずいるよ！

迷惑かけちゃいけないと思わず

頼ってOK！



家族のケアには、高齢や障害、病気のある家族の看病や介護以外にもいろんなパターンがあります。たとえば…



障がいや病気のある
家族に代わり、買い物・
料理・掃除・洗濯などの
家事をしている



家族に代わり、
幼いきょうだいの
世話をしている



日本語が第一言語ではない
家族や障がいのある
家族のために
通訳をしている



家計を支えるために
労働をして、
障がいや病気のある
家族を助けている



アルコール・薬物・
ギャンブル問題を抱える
家族に対応している



がん・難病・精神疾患など
慢性的な病気の
家族の看病をしている

“care”には
「気にかける」の
意味もあるよ

もちろんケア自体は悪いことではありません。
でも、他のことができなくなったり、しんどくなると要注意！

つながり先

● 京都府ヤングケアラー総合支援センター

075-662-2840 (月～土曜日 10:00～18:00)



LINE相談



ひみつは
守ります

● いろはのなかまたち

(公財)京都市ユースサービス協会 (kyoto-ys.org)



ホームページ

● ふれあい・すこやかテレフォン【毎日24時間対応】※1 京都市外の人はココ！

075-612-3268 / 075-612-3301 / 0773-43-0390

● こども相談24時間ホットライン ※1 京都市内のはココ！

7333 (毎日24時間対応)

*ダイヤル回線、IP電話の場合は 075-351-7834



「こんなこと話していいのかな…」と思わず気軽に相談してね。



きみが選ぶ物語

—ケアのある日々の中で—

きみが選ぶ物語 —ケアのある日々の中で—

2024年3月 第1版 第1刷発行

●発行:京都府健康福祉部 家庭支援課 ☎602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町 TEL:075-414-4585

●作画:キム ドンジュン(京都精華大学 マンガ学部) ●監修:ユースギヨン(京都精華大学 マンガ学部教員)

●編集:京都精華大学(京都国際マンガミュージアム)事業推進室

※本冊子は京都府と京都精華大学との包括協定をもとに制作しました。※本冊子のコピー・スキャン・デジタル化などの無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。

© 2024 京都府